

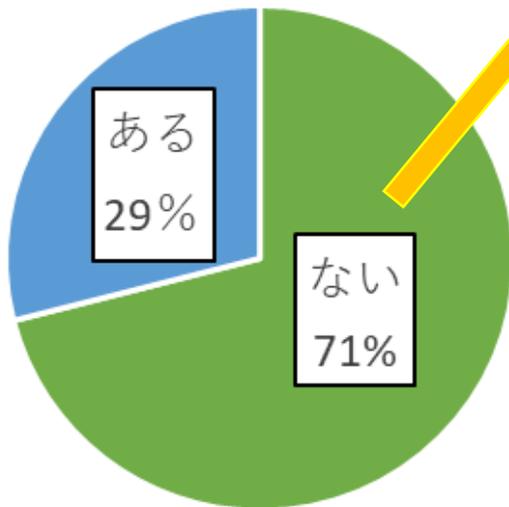
地域の防災訓練に関するアンケート調査結果【概要版】

調査の概要

- ◆目的： 南海トラフ地震の発生確率が高まる一方で、地域の防災活動に関わる人は高齢していること、また自治会への加入者が減少傾向にあることにより、地域防災を担う新しい人材の不足が懸念されている。
大規模災害が発生した際には、各地域における防災活動が被害の軽減に不可欠である。地域の防災活動に関する実情を知るためには、小学校で行われる防災訓練が最適の機会である。
そこで、より多くの地域住民に防災訓練に参加してもらうことを目的として、住民の防災訓練に関する認識等を把握し、そこから課題を発掘し、地域の防災活動の活発化に役立てる。
- ◆対象：市内在住または在学、勤務している方
- ◆実施方法：市公式LINEリサーチ機能
- ◆周知方法：市公式LINE・市HP
- ◆実施期間：令和7年8月29日から9月19日
- ◆回答数：656件

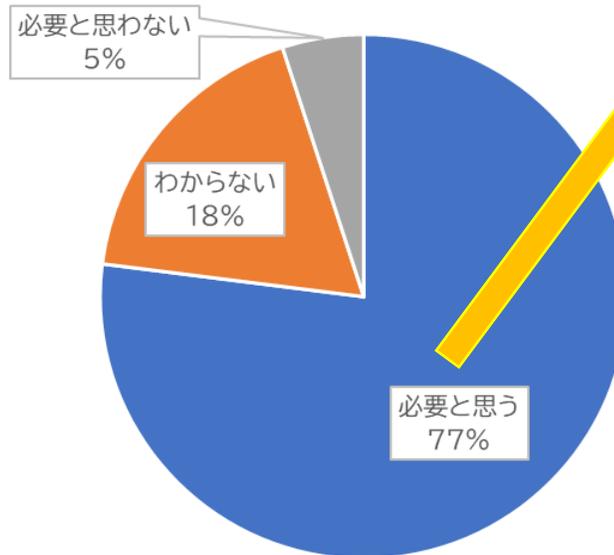
調査結果

地域の防災訓練に参加したことがありますか？



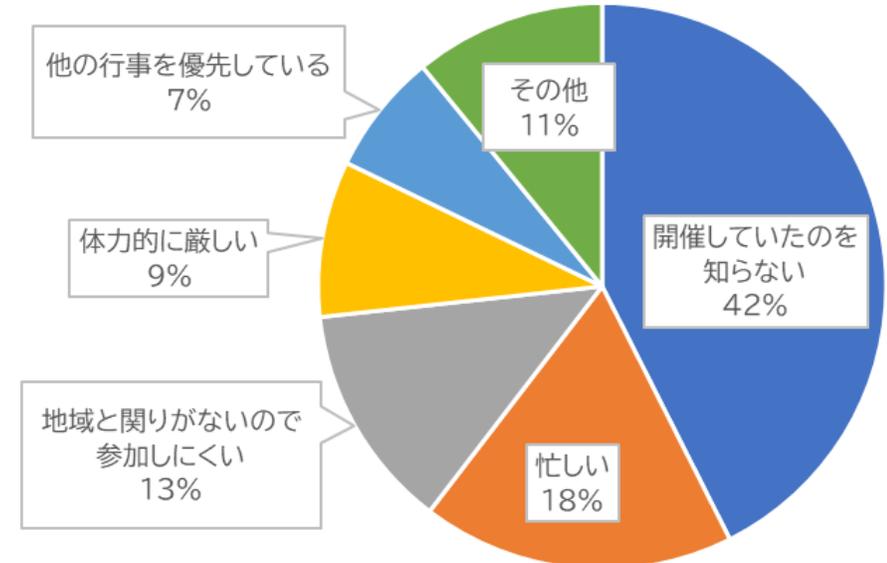
参加したことが「ない」と回答した方への質問

防災訓練に参加することは必要だと思いますか？



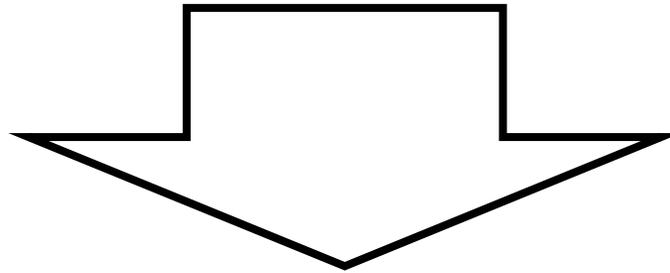
防災訓練に参加したことはないが、「参加することは、必要だ」と考えている方への質問

これまで不参加であった理由は何ですか？



防災訓練に参加しない理由

- ◆これまで防災訓練に参加したことがない方の中で、参加することは必要だと考えている方が77%を占めている。これは、多くの人の意識と実際の行動に、差が生じている状態といえる。
- ◆防災訓練に参加していなかった理由で最も多かったのが、「開催されていたのを知らない」という理由で、全体の42%であった。また、「忙しい」という理由と、これと同じような背景を持つ「他の行事を優先している」という理由を併せると、25%となる。



課題

- ◇開催に関する周知方法は認知度を向上させるために、従来の方法に加えて、別の方法が必要である。
- ◇防災訓練と他の行事とのどちらに参加しようかと比較したときに、防災訓練を選択してもらうためには、今より「参加しやすい」または「参加したくなる」要素を取り入れることが必要である。